



報道機関各位

令和5年9月20日

北九州市環境局

『世界銀行』と『インドネシア政府代表団』が北九州市を訪問 北九州市の先進的な廃棄物管理・リサイクルを学びます！

北九州市は、平成28年から世界銀行が日本の自治体と連携して途上国の開発課題の解決に取り組む「都市パートナーシッププログラム」の第一期選定都市として、「グリーン成長」「廃棄物管理」をテーマに、北九州市での研修受入や専門家派遣などを実施しています。

今回、世界銀行の「インドネシア廃棄物管理・サービス向上プロジェクト」の技術協力事業として、世界銀行とインドネシア政府代表団が来北し、市長表敬や北九州エコタウン等の環境関連施設の視察を含めた研修を実施します。

本研修が環境国際協力としてインドネシアの廃棄物管理能力向上に役立つとともに、北九州市エコタウン企業のPRに繋がることが期待されます。

なお、世界銀行の特定国を対象とした技術協力事業での北九州市の研修受入は初めてです。

記

1 市長表敬

- (1) 日 時 令和5年9月28日(木) 15:30~15:50
- (2) 場 所 北九州市役所本庁舎5階 プレゼンテーションルーム
- (3) 来庁者 世界銀行専門家、インドネシア内務省地域開発局長など 22名
- (4) 内 容 挨拶、歓談、写真撮影

2 廃棄物管理向上訪日研修

- (1) 日 程 北九州市開催：9月27日(水)~28日(木) ※詳細は別紙1参照
(全体日程：令和5年9月25日(月)~29日(金))
- (2) 内 容 タカミヤ環境ミュージアム、北九州エコタウンへの訪問等

3 取材申し込みについて

相手方との調整及び事前準備が必要であるため、取材の際は9月26日(火)17時までに問い合わせ先にご連絡ください。(別紙1参照)

4 添付資料

- 取材について : 別紙1
世界銀行のプロジェクト及び本研修(技術協力事業)の概要 : 別紙2
世界銀行及び北九州市との連携について : 別紙3

【問合せ先】

環境局環境国際戦略課(アジアカーボンニュートラルセンター)
担当課長：村上、担当係長：田澤(TEL:093-662-4020)

取材について

※下記の施設において取材可能です。相手方との調整及び事前準備が必要であるため、取材の際は9月26日（火）17時までに下記お問い合わせ先にご連絡ください。

日時	内容	住所
9月27日(水) 15:30~16:15	【廃棄物管理向上訪日研修】 「タカミヤ環境ミュージアム」	八幡東区東田 2-2-6 (TEL:093-663-6751)
9月28日(木) 9:00~10:05	【廃棄物管理向上訪日研修】 「北九州エコタウンセンター」	若松区向洋町 10-20 (TEL:093-752-2881)
9月28日(木) 15:30~15:50	【研修団による市長表敬訪問】 (1)武内市長挨拶 (2)世界銀行代表者挨拶 (3)インドネシア代表者挨拶 (4)歓談 (5)集合写真	北九州市役所本庁舎 5階 プレゼンテーションルーム

【お問い合わせ先】

環境局環境国際戦略課（アジアカーボンニュートラルセンター）

担当課長：村上 担当係長：田澤（TEL:093-662-4020）

インドネシア廃棄物管理・サービス向上プロジェクト概要

概要：インドネシアにおいて、国家レベルの政策改革と地方自治体の改善・サービス向上を目的とし、廃棄物管理における収集・運搬・リサイクル・中間処理などに焦点を当て、インドネシア政府が20～40の対象自治体を選定し、成果ベースで支援するもの。

実施時期（予定）：2024年9月から約5年間

金額（予定）：3.5億米ドル（約500億円）

インドネシア廃棄物管理向上訪日研修（技術協力事業）

趣旨・目的：上記プロジェクト実施の技術協力事業として、自治体の管理・監督を含む政府の廃棄物担当省庁を対象に、北九州市での研修を通じて、廃棄物処理のフロー、処理技術などについて理解を深める。

研修日程：2023年9月25日(月)～29日(金)

(9月24日(日) : 来日)

9月25日(月)～26日(火) : 東京、横浜市で講義、視察

9月27日(水)～28日(木) : 北九州市滞在

9月29日(金) : 東京でまとめ・グループワーク

(9月30日(土) : 離日)

来北者：22名

世界銀行

代表 東京開発ラーニングセンター代表 クリストファー・パブロ

東京開発ラーニングセンター (TDLC) 4名

インドネシア現地プロジェクトチーム 5名

インドネシア政府

代表 内務省 地域開発局長 レストゥアルディ・ダウド

内務省、環境林業省、公共事業・住宅省 各省局長など 13名

世界銀行及び北九州市との連携について

【世界銀行】

世界銀行は、貧困削減と持続的成長の実現に向けて途上国政府に対し融資、技術協力、政策助言を提供する国際開発金融機関である。その重要意思決定は日本を含む加盟国が行っている。世界銀行グループ（本部所在地：米国ワシントンD.C.）は1944年に設立され、5つの機関で構成されており、1万人以上の職員が世界120か国以上で業務にあたっている。

【世界銀行東京開発ラーニングセンター（TDLC）】

日本政府と世界銀行のパートナーシップに基づいて2004年に設立。アジア大洋州を含む全世界における開発援助コミュニティの中で、都市開発や防災に関する知識と経験の交換と共有を促進することを目的としたセンター。

【世界銀行と北九州市の「都市間パートナーシッププログラム（CPP）」】

CPPは、日本において選定された都市と途上国都市との連携を支援し、促進することを目的とし、北九州市は2016年7月にCPPの第1期として横浜市、神戸市、富山市とともに選定され、「グリーン成長」と「廃棄物管理」のテーマで活動している。

※これまでの主な取組

- | | |
|----------|--|
| 平成28年7月 | 世界銀行がCPPの第1期都市として北九州市を選定。 |
| 平成29年3月 | 北九州市と世界銀行がCPPにかかる覚書を締結。
「対話型研修（テーマ：廃棄物管理）」を北九州市で実施。 |
| 平成30年2月 | 「北九州モデル：廃棄物管理と洪水リスク管理」を作成。 |
| 平成30年9月 | 「対話型研修（テーマ：廃棄物管理）」及び世銀レポート出版記念公開
セミナーを北九州市で実施 |
| 平成30年11月 | 廃棄物管理に係る専門家派遣（パナマ） |
| 令和元年11月 | 「対話型研修（テーマ：廃棄物管理）」を北九州市で実施
国際シンポジウム「海洋ごみと海洋プラスチック問題解決に向けた課題と
アプローチ」を世界銀行と北九州市で共催 |
| 令和2年10月 | 「対話型研修（テーマ：廃棄物管理）」を実施（オンライン） |
| 令和3年10月 | 「対話型研修（テーマ：廃棄物管理）」を実施（オンライン） |